

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第189号（5.3.6） 子供たちのために、神戸市の予算で保育所等の職員配置基準引上げを求める陳情
陳 情 の 要 旨	安心して保育を受けられるよう子供たちのために、神戸市の予算で保育所等の1歳児の職員配置基準を早急に1対5にすること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市中央区 神戸市保育運動連絡会 朝倉 ユミ
送 付 委 員 会	教育こども委員会

2023年3月6日

神戸市会議長

様

神戸市保育運動連絡会

朝倉ユミ

神戸市中央区

子どもたちのために、神戸市の予算で

保育所等の職員配置基準引き上げを求める陳情書

(陳情趣旨)

コロナ禍で保育所等の重要性は広く社会に認識されるようになりましたが、感染対策をしながら、子どもの発達や保護者の就労を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準では不十分です。子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっています。

不適切保育や死亡事故などが連日報道され、保育現場は元々の保育士不足に拍車がかかり疲弊していくばかりです。保育士は過重な労働環境に置かれ、賃金も低いことから、保育士の確保と定着が喫緊の課題となっています。ゆとりもない中、子どもたちの安全は保育現場の必死の努力に任されています。保育施設内で起きた重篤な事故は2021年に1872件発生しました。2015年の子ども子育て支援新制度導入時(2015年)の4倍以上の増加です。2013年5月の神戸市立須磨保育所の死亡事故の際もアルバイト職員が見つからず、パート職員とパート職員でつないでいた実態がありましたが、今でも変わっていません。

保育所等の職員配置基準は国が定めていますが、0歳児は1対3、1・2歳児は1対6、3歳児は1対20、4・5歳児は1対30です。4・5歳児については70年以上、1・2・3歳児については50年以上改善されていません。どの年齢も基準改正が切実ですが、特に1歳児と2歳児が同じ基準では無理があります。1歳児は、まだ歩いていない子、睡眠が午前午後2回必要な子、一人で食事ができない子等ですが、2歳児は満3歳になると走ることができる、一人で着替えることができる、食事も一人でできるようになります。

保育士不足が加速しているだけでなく、保護者対応やコロナ等の感染予防対策等への配慮等で、このままでは現場は崩壊してしまいます。国の予算や国の動きを待っていたら、次の事故が起こりかねません。神戸市の予算で早急に以下の事項を、まずすすめていただきたく陳情します。

(陳情項目)

安心して保育を受けられるよう子どもたちのために、神戸市の予算で保育所等の1歳児の職員配置基準を早急に1対5にしてください。